

一年を振り返って

指導委員長 村上 周平

昨シーズンは雪解けが早く雪上講習など苦労した覚えがありますが、今年は暖冬・雪不足、雪山を楽しむ人にとっては苦々しいシーズンとなっています。これも異常気象か…とはいえ南岸低気圧の影響で降るドカ雪(いわゆる上雪)などはすでに異常とか特殊な状況とは感じられなくなっています。さらさら雪が基本だった八ヶ岳も湿雪で登山道への倒木や停電などが頻繁しています。

一方で県内の山岳遭難発生件数は一昨年の300件をピークに微減の様相です。山岳センターによる山のグレード表作成などの啓蒙活動が功を奏しているのなら喜ばしいことなのですが…内訳から特徴を見ると相変わらず40歳以上のいわゆる中高年が多くを占め、原因も体力不足、技術不足からと思われる道迷いや転滑落が多くみられます。単独行での遭難も増加傾向にあり、またアルパインな登攀中というようなものよりなんでもない一般縦走路での事故、冬もバックカントリーでの山スキー中の遭難が目立ちます。様々な山の楽しみ方が増えるに従い山岳遭難も多様化しているようです。

このような状況の中、指導委員会が情報交換や技術研鑽の場として、登山者の技術アップ、遭難防止に役立っていくよう、盛り上げていきたいと思っていますので、皆様の変わらないご協力をお願いいたします。

平成27年度事業報告

昨年度は5/16～17に第18回雪上交流会in針ノ木を開催。針ノ木沢や大沢にてピッケル使用の直登下降を中心に、キックステップ時の「立ちこみ」等を反復、雪質と斜度に対応出来る歩行テクニックや支点構築～ロープワークを実践しました。雪上検定の事前講習会も行いました。

二週続きでの参加は難しい協会員もいることから、翌々週となる5/30～31で第54回指導員検定会を実施しました。6名の受験者があり、全員山岳専門科目に合格しました。第3回理事会にて承認

10/3～4に第28回長山協キャンプ in 小川山を開催。遭対委員会との共催によるセルフレスキュー研修、指導員受験希望者の継続的なレベルアップを目指した事前講習と初心者講習の班に分け、初心者からベテランまで各自のレベルに合った技術習得や日頃感じている疑問点を解決しあえる研修会になりました。

今年に入り1/23～24には第4回目となる八ヶ岳ウインターミーティングを実施しました。多くの協会員に参加・協力いただき、楽しい交流会・講習会となりました。アイスクライミング体験・初級者・事前講習の各班がジョーゴ沢F1～F2やナイアガラの滝においてそれぞれのテーマで熱心な講習会ができました。来年も継続してますます充実した場になるようにと考えています。

その他として山岳センターの講習会への講師派遣を随時実施しました。センターの協力もあり、多くの若い指導員に講師としての経験を積んでもらうことができました。またセンターのリーダーコース卒業生が協会加盟山岳会に入会する事例も増え、いい循環が生まれてきたように感じています。

今後も安全で楽しい講習会、交流会を続けて参ります。

平成27年度実施事業

- ① 指導員の養成
- ② 第18回雪上交流会in針ノ木 27. 5. 16～17 参加者40名(指導員12)
- ③ 第54回指導員検定会 27. 5. 30～31 6名合格
山岳専門科目合格 岩井美香(松本山)、及川真弓(AW2)、田中秀和、中島純子、落合理恵、小野文孝(LM)
- ④ 第28回長山協キャンプin小川山 27. 10. 3～4 参加者 名(指導員19)
指導委員会、遭対委員会合同実施 フェニックスの大岩、ガマスラブ
- ⑤ 第4回ウインターミーティングin八ヶ岳 28. 1. 23～24 参加者41名(指導員26)
行者小屋泊 ジョーゴ沢にて講習
- ⑥ 支部主催登山教室への協力
- ⑦ 指導員研修会、養成講座の開催
- ⑧ 山岳センター講師派遣
- ⑨ 更新登録手続き

その他

- ・退会者(2/10 現在) 杉山昭久(信高)、堀内利美(GDM)、小松達(松本山)、丸山武志(CMC)
名取幸一(茅野)、星野吉晴、藤森正彦(下諏訪)、唐木勉(伊那)、木下寿男(駒峰)
浅川とみ子(大町)

☆ 平成27年度指導委員会役割分担

任 務	氏 名	所 属	
委員長	村上周平	茅野山岳会	
副委員長	傘木 靖	飯田山岳会	
総務・会計	佐伯和人	山幸 G	
総務・総務	小口得也	L&M	
検定	古畠俊彦	GDM	
研修	傘木 靖	飯田山岳会	
研究	松山 信	マウントブーリー	